

IBM クラウド 緊急支援プログラム

緊急情報提供や情報管理向けに IBM Smart Business Cloud 無償提供

東北地方太平洋沖地震の影響により、公共性の高い緊急情報提供向けサーバーを必要とする、地方公共団体、社会貢献活動や慈善活動を行う非営利団体等 を対象に、復興ご支援を目的として、必要なサーバー資源を IBM の海外のクラウド・データセンターを利用し、7 月末までの 3 ヶ月間無償で提供します。

本プログラムでは、現在の日本国内の電力供給の状況を鑑み、米国、ドイツ、カナダにある複数の海外の IBM クラウド・センターから、緊急情報提供向けに仮想サーバーをご提供します。

【プログラム概要】:

『東北地方太平洋沖地震』により、緊急情報提供・情報管理向けのサーバー資源が必要となっている団体に対して、IBM Smart Business Cloud を活用した仮想サーバー資源の 3 ヶ月間の無償提供を行います。

[用途例]:

- 災害救助法適用地域向け災害情報・管理支援アプリケーション基盤
 - 不足品リスト、避難所支援、病院支援、物資提供情報案内など
- 電力・水道・ガス等のライフライン系ホームページのミラー・サイト
 - ライフライン情報状況など

[提供サービス]:

- ・IBM Smart Business Cloud サービス
- (注)物理サーバーの提供はございません

[データ・センター]:

- ・日本の電力不足を鑑み、米国、カナダ、ドイツなどの海外の IBM クラウド・データセンターを使います。

適用条件と対象 :

災害救助法適用地域において緊急情報提供向けサーバーを必要とする、地方公共団体や社会貢献活動・慈善活動を行う非営利団体等

詳細はこちらから

→<http://www-935.ibm.com/services/jp/igs/cloud-development/configurations.html>
